

## 「県立高校の将来像を考えるシンポジウム」の結果概要について

- 1 主催 県立高校改革推進検討協議会
- 2 趣旨 これからの県立高校の将来構想について、今後の生徒の減少動向や社会状況などを踏まえながら、現状と課題の理解を図り、県民の皆様と広く高校教育について考え、意見等を聴取し、県立高校改革推進検討協議会での協議に資する情報収集の機会とする。
- 3 テーマ 「県立高校の将来像を考える」
- 4 日時 平成26年5月24日(土) 15時05分から16時45分まで(14時50分開場)
- 5 会場 神奈川県立横浜平沼高等学校 小ホール
- 6 参加者 285人
- 7 結果概要

### (1) あいさつ

本シンポジウムの実行委員長である、県立高校改革推進検討協議会の 鈴木宏司 副会長が、県立高校改革推進検討協議会設置の趣旨とこれまでの協議会の取組みを述べたあと、シンポジウムの展開を説明し、開会のあいさつとした。

### (2) 基調提案

「今後の高校教育の方向性について」をテーマとして、県及び国の動向や県の取組みを踏まえ、新たな県立高校改革の方向性について、県立高校改革推進検討協議会の構成員である坂野 慎二 玉川大学教授から基調提案があった。



### (3) シンポジウム (コーディネーター 屋敷 和佳 県立高校改革推進検討協議会会長)

ア シンポジストから自己紹介とそれぞれの視点による意見表明があった。

- ・高木 展郎(横浜国立大学 教授) 「神奈川の教育を考える調査会からの指摘」
- ・山田 朋子(県立高校改革推進検討協議会構成員) 「これからの高校教育で伸ばす能力」
- ・平田 桃(鎌倉市立腰越中学校 3年生) 「中学生にとって魅力ある高校選択」
- ・蔦澤 元晴(県立高校改革推進検討協議会構成員)  
「県立高校の高い学力保障・進学指導力の復活」
- ・中田 正敏(県立高校改革推進検討協議会構成員)  
「インクルーシブな高校づくりに向けて」
- ・安達 秀子(県立高校改革推進検討協議会構成員)  
「PTAの参画・協働による学校づくりの支援」
- ・平岩 悠里(神奈川県立横浜平沼高等学校 2年生)  
「高校生からみた充実した高校教育への期待」

### イ 事前意見の紹介

参加申込みの際に寄せられた、「これからの高校教育に期待すること」への意見を、県立高校にかかる全般的な意見、教育内容の充実、教育環境、そして適正な規模と配置の順に整理し、それらを紹介しながら、シンポジスト間での意見交流を行った。紹介した主な意見は次のとおりである。

- 県立高校で学ぶ生徒にとっては何よりも安全で安心であることが必要である。
- 進取性・先見性に富む神奈川県のこれからの県立高校づくりを期待する。

- 全日制高校の進学率を向上させる。
- インクルーシブ教育の導入に向けた人的・物的な環境整備を推進する。
- 小・中学校に比べてコンピュータなど情報機器を用いた授業が高校は少ない。
- 現在の中・高生の武道に対する理解がどのようなものか知りたい。
- 県立高校各校の特色づくりが見えにくい。まずは課程・学科の設置趣旨に応じた教育をしっかりとすべきではないのか。
- 組織的な授業改善の充実を求める。また、高校は学校行事が多いようなので授業時数の不足を危惧する。
- 校舎の老朽化対策、耐震化対策、トイレ等の身の回りの生活環境改善を進めてほしい。
- 地域協働やPTAの活性化のために、コミュニティ・スクールの導入を検討してほしい。
- 学校規模を縮小してきめ細かな指導が可能となったのであるならば、その教育成果がどのように見て取れたのか知りたい。
- 生徒数が少なくなり、学校の活気がない。体育祭などの学校行事の活性化や部活動のチーム結成や大会出場など、ある程度の学校規模で生徒がいないと成り立たない。
- 学力向上進学重点校を強化してほしい。県民は県立高校の進路指導に期待している。
- 3課程一体のフレキシブルスクールの増設や、クリエイティブスクールの県西部、中央部への地域バランスを考えた設置を是非お願いしたい。
- 前回改革の「新タイプ校」について検証を行い、拡大するもの、削減するもの、改善を図るものなど先を見据えて取り組むことを求めたい。



#### ウ フロアーからの意見

- 公立でも経済的に支援を必要とする子どもが多いので、安心して学べるようセーフティネットを充実させてほしい。
- 連携型中高一貫教育校は、自分の将来を考える上でも良い取り組みだと思う。
- 「安全」を追求する学校づくりの大切さをシンポジウムで感じた。自分は高校の教員志望なので、生徒の「安心・安全」「心の安全・安心」をケアできる教員になりたいと思う。
- 外国につながる生徒についても安心して学べる仕組みを充実させてほしい。

#### エ まとめ

屋敷コーディネーターから、「今日いただいた意見を参考にしながら、今後の県立高校改革に関する協議を深め、県民の方々と一緒になって県立高校改革を支援していきたいので、是非引き続き、御理解と御協力をお願いします。」とまとめられた。

#### (4) あいさつ

鈴木実行委員長から、出席者、参加者への謝辞及び今後の県立高校改革に対する理解と協力を依頼する閉会のあいさつを行った。